

## 「わたしの いちばんの おうえんだん」

わたしの なまえは くりはら めぐみ。 えたじましで うまれて そだちました。 いまは せんだいという ところに すんで、 バレーボールせんしゅを しています。 そして、 せかいの チームと しあいを しています。

わたしは、 うまれたとき 3950グラムの おおきな あかちゃんでした。「めぐみ」という なまえは、 おとうさんが つけてくれました。 しあわせに めぐまれますように、 ともだちに めぐまれますように、 いろんなことに めぐまれますように、 という ねがいが こめられています。 わたしは この なまえが だいすきです。

わたしは ちいさいころから、 バレーボールで あそぶのが すきでした。 おとうさんと バレーボールの れんしゅうを している ときの ことです。

「ボールを よく みて。」

「うん、 わかった。」

「てを のばして。」

「できないよ。」

「ああ、 もう、 そうじゃない。」

「できない。 もうやらない。」

といって おとうさんと よく けんかになりました。 わたしは おこって、 れんしゅうを やめました。

でも、 つぎの ひには、

「おとうさん、 いっしょに れんしゅうしよう。」

と、 いいました。 おとうさんは、 にこっと わらって、

「よし、 やるか。」

といって すぐに れんしゅうを してくれました。

わたしの だいこうぶつ、 それは おかあさんが つくってくれる グラタンや クリームシチューです。 おさしみも だいすき。 こうばしい カキごはんや カキフライも。 おかあさんの つくるものは なんでも おいしいと おもいます。

わたしが せんだいから かえると おかあさんは すきなものを テーブル いっぱい よういして くれます。 たべきれない ぐらいです。 わたしが ぱくぱく たべるのを、 おかあさんは ずっと みています。

「やっぱり、 おかあさんが つくったものは さいこう！」

というと、 おかあさんは にっこり わらって

「ありがとうございます。」

といいます。 わたしも

「ありがとうございます。」

といって、 ふたりで めを あわせて、 また わらいます。

しあいが あるとき、 おとうさん おかあさんは いつも おうえんに きてくれます。 わたしは ふたりの かおを みると、 がんばる きもちが わいてきます。 おとうさん、 おかあさんは わたしの いちばんの おうえんだんです。